



# 校長室だより

武生第五中学校 校長室

令和8年 6月 8日(月)

第2号



## 手すりがつきました。 5/22



五中は地域に開かれた学校であるために、様々な会議や打ち合わせに、2階の多目的ホールが利用される場面があります。多様な方々が参加されるために、2階への移動に手すりが必要とされておりましたが、このほど待望の手すりが、体育館側階段に設置されました。ご尽力いただいた方々に感謝です。

## 修学旅行 5/28~30

修学旅行の起源は、明治時代の東京師範学校(現:筑波大学)の「長途遠足」で11泊12日の行程(直線距離で約100km)で、歩いて千葉県銚子方面まで言った記録があるようです。目的は行軍練習の体力鍛錬と学術研究や気象観測などを組み合わせたものだったと聞きます。それが現代の学校に広がり、学びと集団生活を目的とした現代のスタイルとなったのです。

今回の目的は、見聞を広める。知識や経験を活かす。楽しみ良い思い出を作る。行動に責任を持つ。地元の良さを考える。地域活性化のヒントを見つける。と、11人の中学生ながら、多彩で多様な目的を考え、臨みました。学校生活が基本にあつての行事なので、生徒たちは精いっぱい頑張つて、修学旅行を作り上げていきました。おかげさまで、天候にも恵まれ、全員無事帰ってくる事ができました。ここで学んだことは、とても貴重で、今後に生かせるものばかりで、次に迫るものに全員全力で取り組めることを期待しております。



## しらやま地区 家庭・地域・学校協議会 6/4

毎年、年間3回行われるコミュニティー会議ですが、第1回目は白山小と五中の学校の経営方針を両校の校長がスクールプランなどをもとに解説しました。小学校のスクールプランも、地域とともにある学校づくりが基本となつており、方針としては大きな違いもなく、同じ方向性であることが確認できました。9年間の義務教育を安定的に過ごしていくためには、この地区ならではの心配事もあり、共有することができました。中には行政側にも強く発信していかなければならない課題も見えてきており、次回の11月、最終の2月のこの会を通して、より良い方向性が見いだされることを期待します。

## すいかの作業 6/5



五中すいかの作業がありました。2年生の作業率に驚かされました。例年の半分の数なのに、とても丁寧な作業で、そのあとの全校での、蔓を分散させる作業がスムーズに終わることができました。育成状況は、枯れてしまつたものも多く、あまり良いとは言えませんが、命の尊さを感じながら、残つたものを丁寧に育てて、暑い、熱い夏に向かいたいと思います。



すいかの作業がありました。2年生の作業率に驚かされました。例年の半分の数なのに、とても丁寧な作業で、そのあとの全校での、蔓を分散させる作業がスムーズに終わることができました。育成状況は、枯れてしまつたものも多く、あまり良いとは言えませんが、命の尊さを感じながら、残つたものを丁寧に育てて、暑い、熱い夏に向かいたいと思います。